

大人のレッスンシリーズ

エレキを弾こう!



Contents

1章 エレキを知ろう

- 1 エレキの構造とパーツ 4
- 2 あると便利な小物 6
- 3 弦の種類 9
- 4 弦交換の方法 10
- 5 チューニング 12
- 6 ギター・アンプの使い方 15
- 7 日々のメンテナンス 17

2章 基礎編

- 1 構え方 18
- 2 右手の構え方 20
- 3 左手の構え方 21
- 4 ギタリストに必要な楽譜の読み方 22

3章 コード・ストローク編

- 1 コードとは 24
- 2 ストロークのやり方 26
- 3 コード・ストロークに挑戦 27
- 4 バレー・コードに挑戦 30
- 5 パワー・コードを弾く 32
- 6 ブリッジ・ミュート 34

4章 アルペジオ編

- 1 アルペジオの弾き方 36
- 2 アルペジオのトレーニング 37



5章 ソロ編

1 単音の弾き方	40
2 ドレミを弾く	42
3 ハンマリング・オン	43
4 プリング・オフ	44
5 スライド	45
6 ビブラート	46
7 チョーキング	47
8 ハーフ・チョーキング	48
9 チョーク・アップ、チョーク・ダウン	50

6章 実践編

1 ギター・ソロ	52
2 リフ	54

7章 ギタースコア

Paranoid	57
LOVE GUN	62
Smoke on the water	68

楽典	74
----	----

コード一覧表	78
--------	----

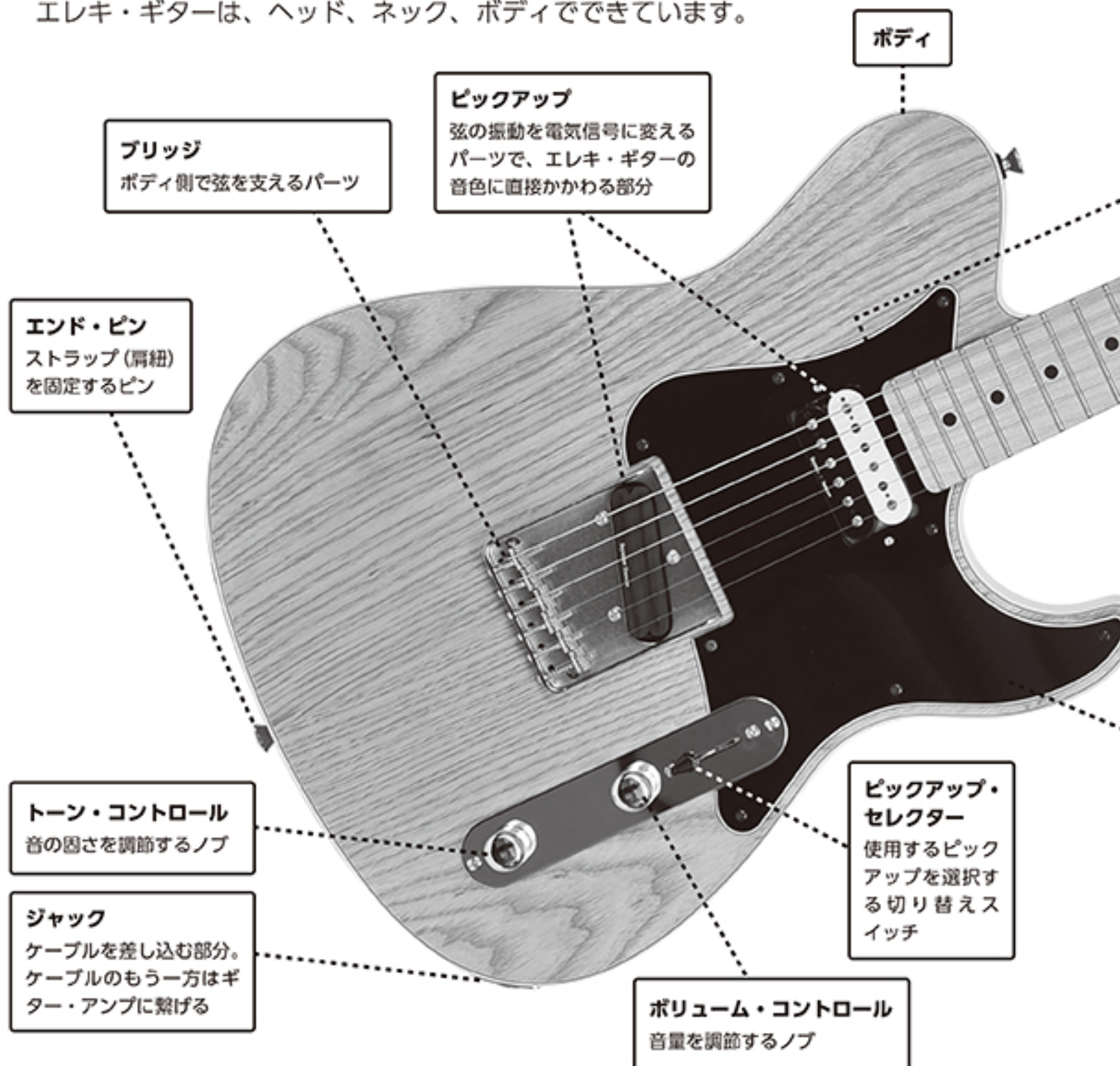
1 章

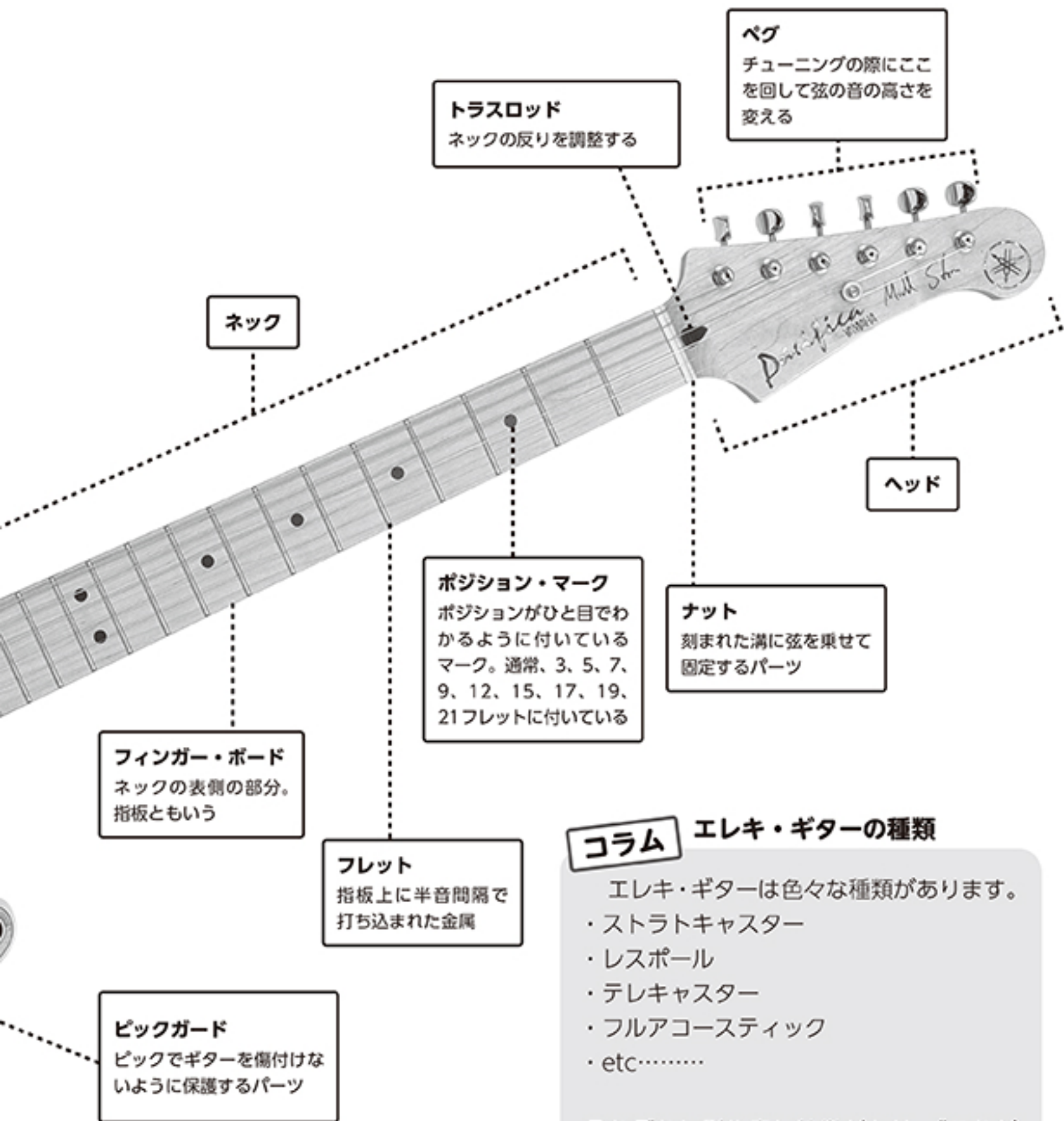
エレキを知ろう

ギターを弾く前にぜひとも知っておきたい知識を確認しましょう。
周辺機器からチューニング方法など、どれも大事なものばかりです。

1 エレキの構造とパーツ

エレキ・ギターは、ヘッド、ネック、ボディでできています。





コラム エレキ・ギターの種類

- エレキ・ギターは色々な種類があります。
- ・ストラトキャスター
 - ・レスポール
 - ・テレキャスター
 - ・フルアコースティック
 - ・etc……

それぞれに形や音に特徴があり、“これがいい”とは一概にいえません。どれを購入するかは大変悩ましい点ですが、まずは自分の予算に合うもの、気に入った形、また自分の好きなギタリストがいれば似たタイプなどを選ぶとよいでしょう。

2 あると便利な小物

エレキ・ギターを弾く上で一緒に用意しておきたい小物を紹介します。

チューナー



▲チューナーは正確なチューニングのための必需品です。

メトロノーム



▲正確なリズムを刻むメトロノームは欠かせません。

ピック



▲様々な形のピックがあります。初めは気に入った形を選びましょう。

楽器ケース



▲頑丈なハード・ケース(上)と持ち運びに便利なソフト・ケース(下)。

■ ストラップ



▲立って弾くときにギターを肩からぶら下げるための紐です。

■ ヘッドフォン



▲アンプに挿して使います。近所迷惑にも配慮しましょう。

■ ニッパー



▲弦交換のときに、弦を切るために使います。

■ スtring・ワインダー



▲通称「ペグ巻き」。ペグを素早く巻くための道具です。

■ ケーブル



▲エレキ・ギターとアンプを繋げるケーブルです。

■ ギター・スタンド



▲ギターを立てかけるためのスタンドです。

エフェクター



▲アンプから出る音を変化させる機械です。エレキ・ギターらしい歪んだ音を出せる「ディストーション」、お風呂場のような残響を作る「リバーブ」、音に広がりを与える「コーラス」など、様々な種類があります。

アンプ



▲エレキ・ギター専用の出力機器です。自宅練習用の小型のものから、貸しスタジオに置いている中型、ライブなどで使われる大型なものまで色々あります。

3 弦の種類

エレキ・ギターには専用の弦を張ります。アコースティック・ギターやクラシック・ギターの弦とは違うので、わからなければ楽器店で確かめましょう。

様々な種類の弦がある

エレキ・ギターの弦の中でも色々な種類があります。



太さによる違い

弦の太さによって音の力強さ、弾きやすさが変わります。最初のうちは指が痛くならないようにエクストラ・ライト～ライト・ゲージを選びましょう。

セットの名称	各弦の太さ (1～6弦の順)	弾きやすさ	音量
エクストラ・ライト	008. 011. 014. 022. 030. 038.	★★★★★	★
コンパクト・ライト	009. 011. 016. 024. 032. 042.	★★★★	★★
ライト	010. 013. 017. 026. 036. 046.	★★★	★★★
ミディアム	011. 014. 018. 028. 038. 048.	★★	★★★★
ヘビー	012. 016. 024. 032. 042. 052.	★	★★★★★

※セットによる各弦の太さはメーカーによって異なります。

4 弦交換の方法

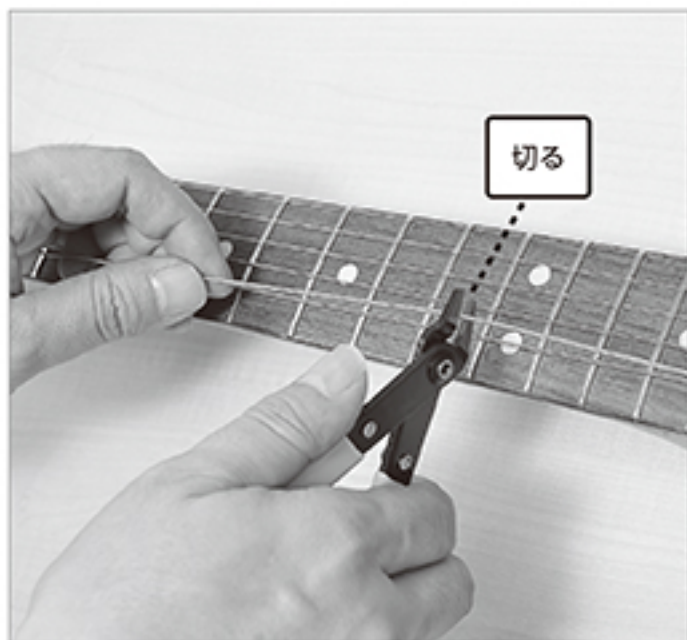
弦は1ヶ月～半年を目安に定期的に張り替える必要があります。弦の交換について見ていきましょう。ここではストラトキャスター・タイプのギターについて説明しています。ギターによっては交換の方法が異なります。

●手順1



▲交換する弦を外します。まずは、1本ずつ緩めましょう。ペグ回しがあると手早くできます。

●手順2



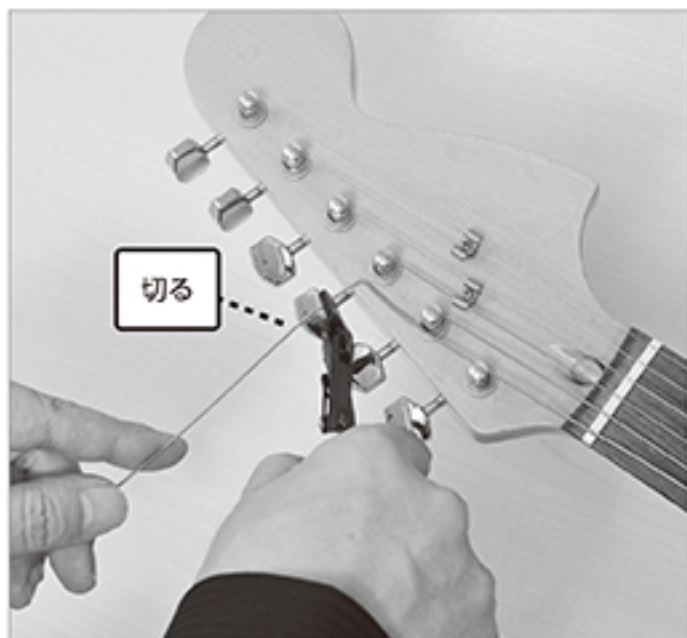
▲ニッパーで真ん中あたりを切り、ペグとブリッジから外します。弦は丸めて捨てましょう。

●手順3



▲ストラトキャスター・タイプはボディの裏から弦を通します。

●手順4



▲ペグの弦を通すところ2つ分程度余分に残して折り曲げ、折り曲げた位置から1cm程度残してニッパーで切ります。

●手順5



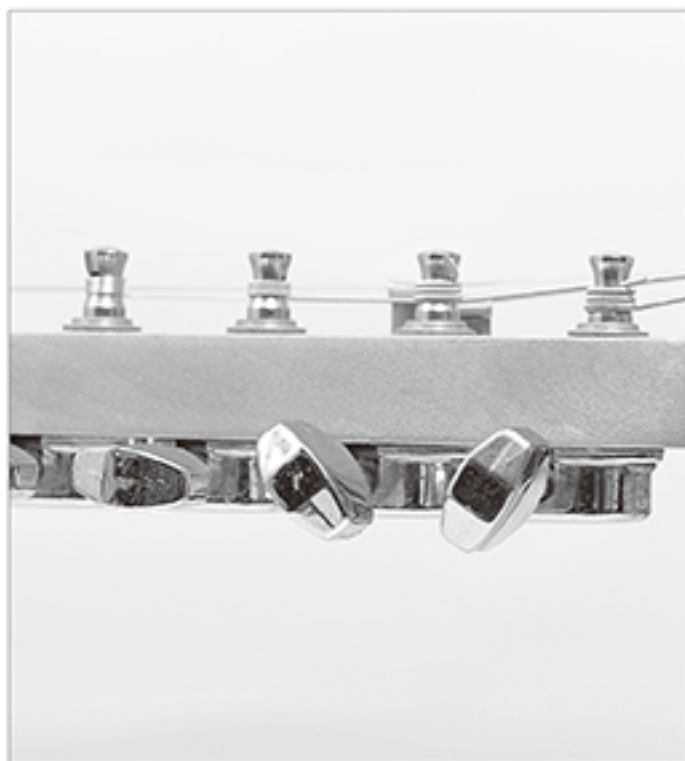
▲折り曲げた位置までペグ穴に通し、軽く弦を引っ張ります。

●手順6



▲そのまま弦を引っ張りながら弦が重ならないように下向きに巻いていきます。

●手順7



▲このように綺麗に巻き付ければ完成です。同じように1～5弦の弦交換をしましょう。

POINT 弦交換の時期

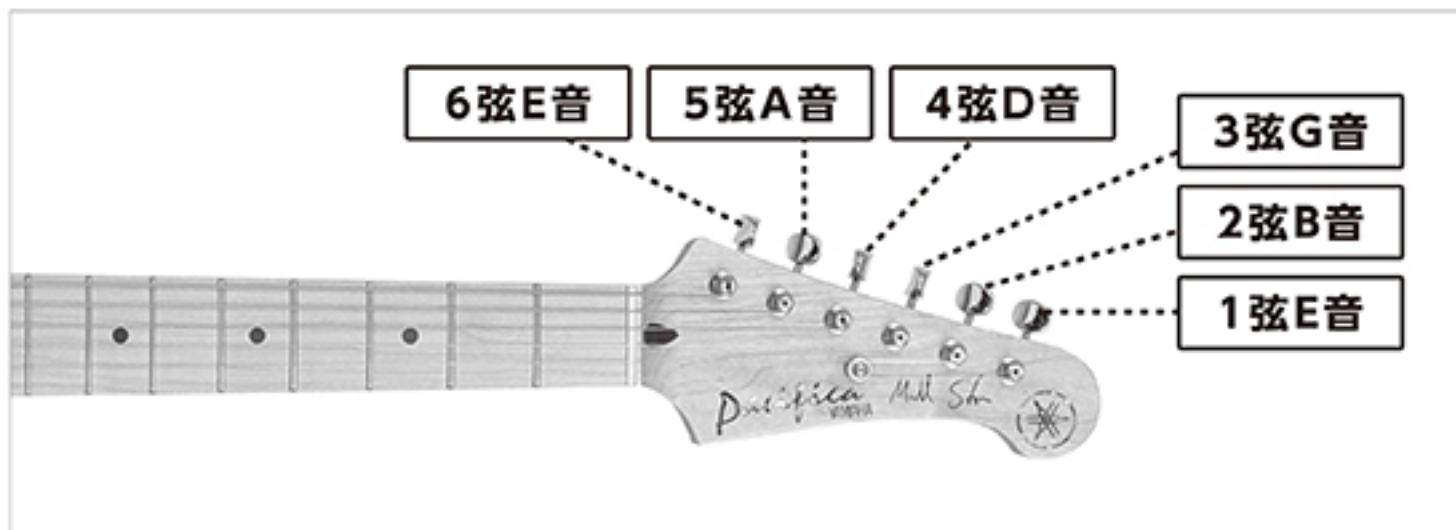
弦が錆びたり、音の張りがなくなってきたら弦交換の時期です。特に1～3弦は「弦の巻き」がないため、4～6弦に比べて錆びるのが早いです。ギターを弾く頻度によって違いますが、1ヶ月～半年を目安に弦を張り替えましょう。

弦が切れて1本だけを交換する場合を除き、基本的には全ての弦を同時に交換することが好ましいです。

5 チューニング

ギターはチューニングが狂いやすい楽器です。各弦を正しい音程に合わせないと美しい響きにならないので、弦交換をしたときだけでなく、日々ギターを弾く前にチューニングするようにしましょう。

各弦の音程



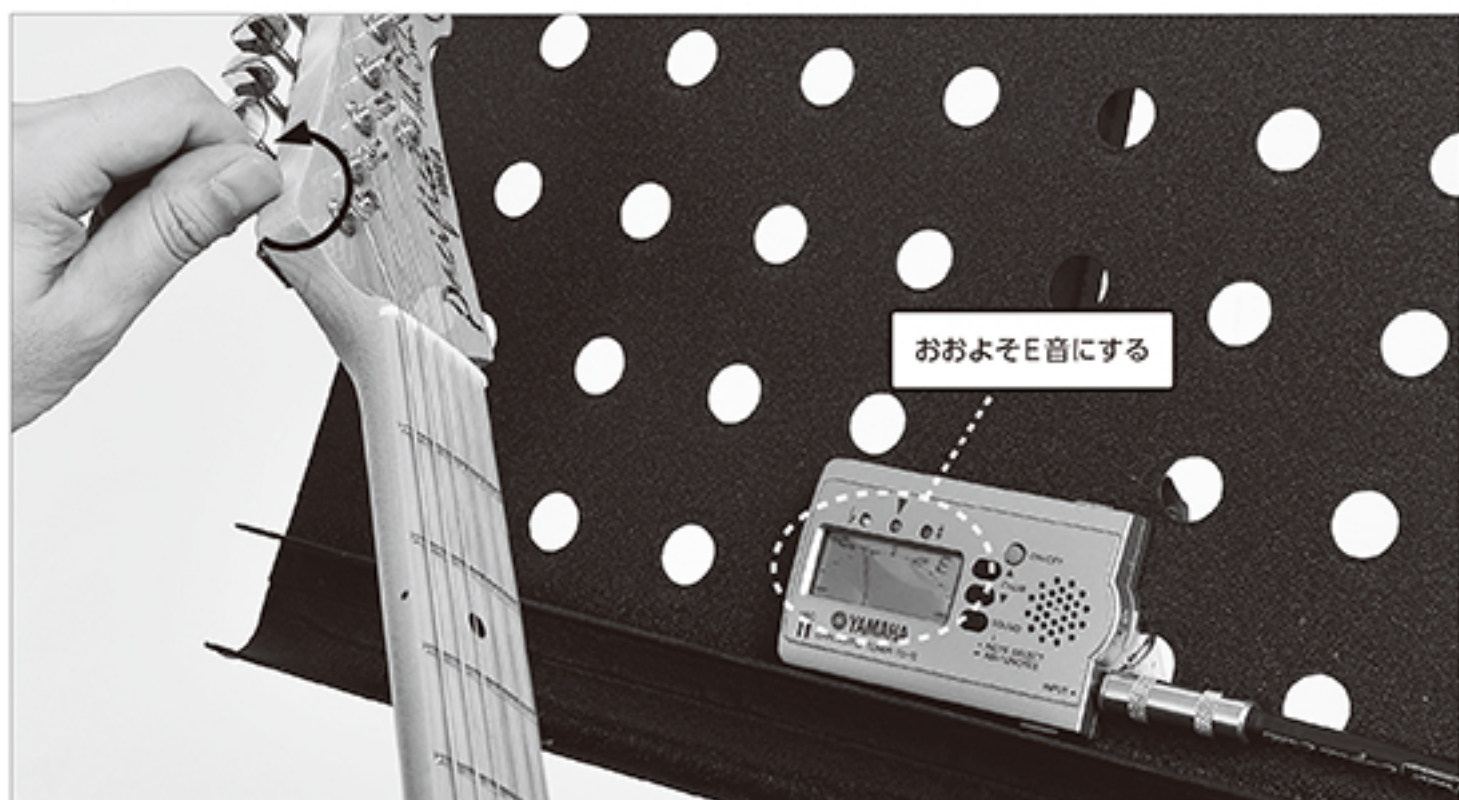
チューニング

●手順1 ギターとチューナーを繋ぐ



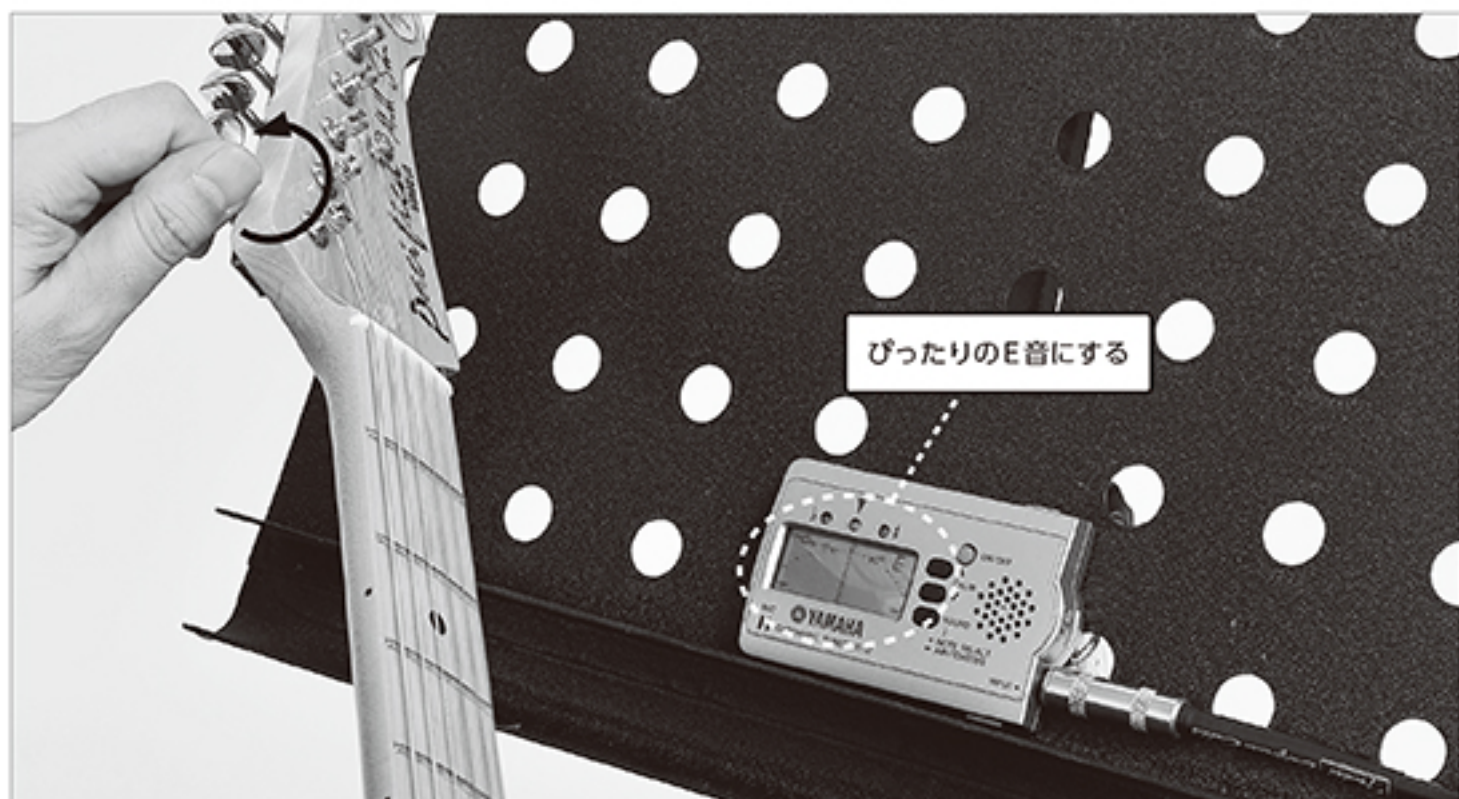
▲チューナーに電源を入れてエレキ・ギターとチューナーにジャックを挿し込みます。

●手順2 おおまかなチューニング



▲6弦の開放弦(左手でどこも押さえない)を鳴らしチューナーの表示がおおよそE音になるようペグを調節します。

●手順3 正確にチューニング



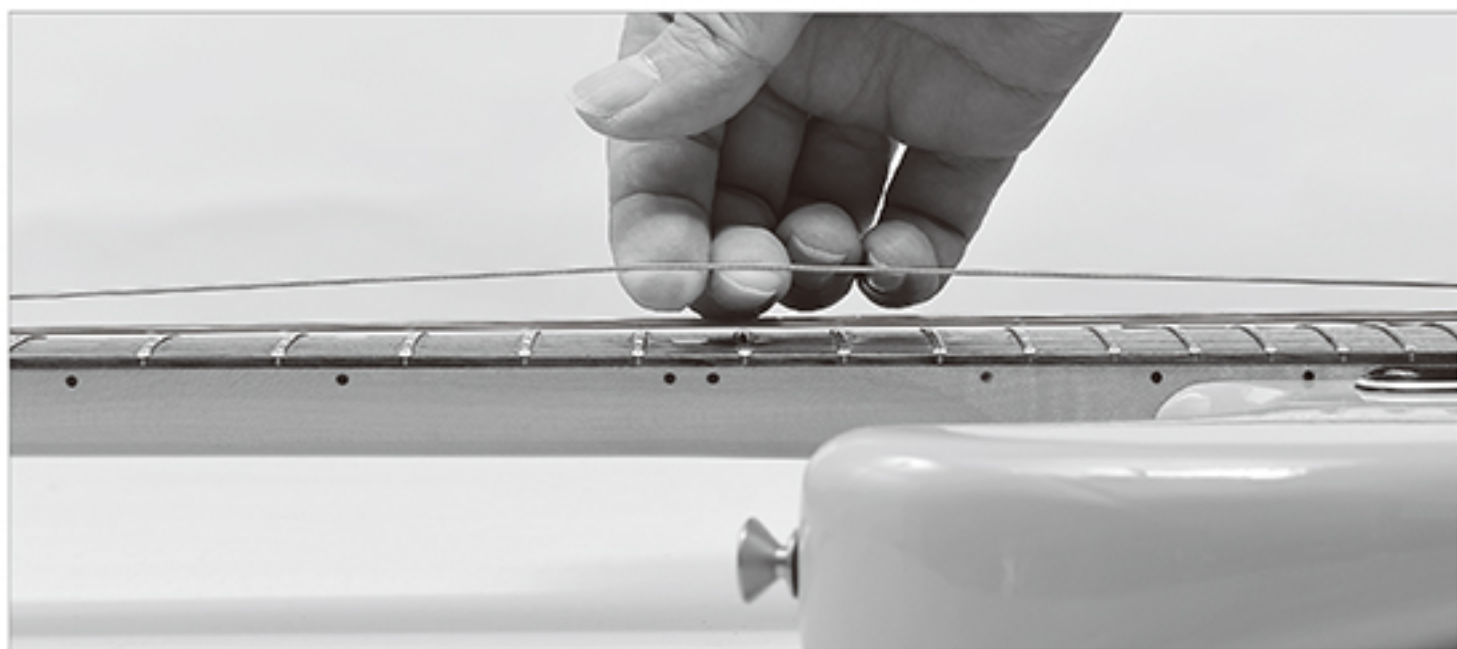
▲チューナーの針が真ん中に来るようにペグを慎重に回します。針が中央で止まったら6弦のチューニングは完成です。

同じように5～1弦をチューニングしましょう。

チューニングの注意点

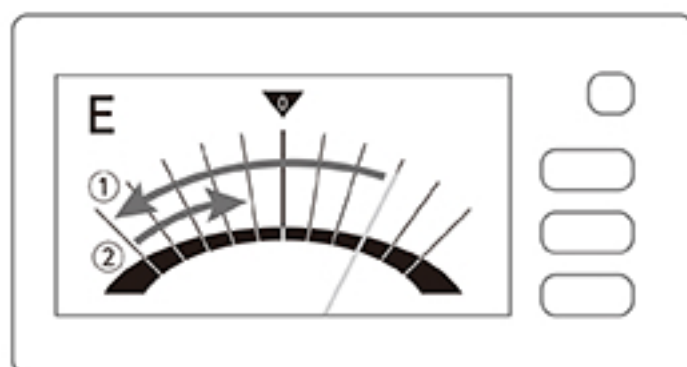
●弦は伸びる

新品の弦を張って最初のうちは弦が伸びてチューニングが狂ってしまいます。弦を伸ばしきってチューニングを安定させるために、弦を軽く引っ張りましょう。



●チューニング中、針が上がりすぎたときは、いったん大きく下げる

針が上がりすぎた場合に、そこからちょうどの音に合わると、チューニングした音がすぐ下がってしまい、安定しません。いったん大きく下げて、再度また調整しましょう。



①大きく下げて

②再度合わせる

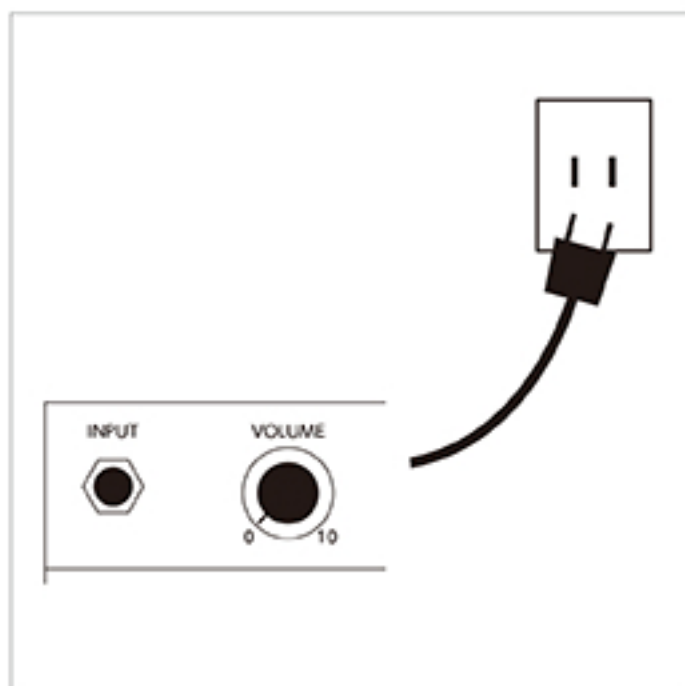
●もう一度それぞれの弦のチューニングを確認する

6～1弦までチューニングした後は、もう一度6弦からチューナーで確認しましょう。

6 ギター・アンプの使い方

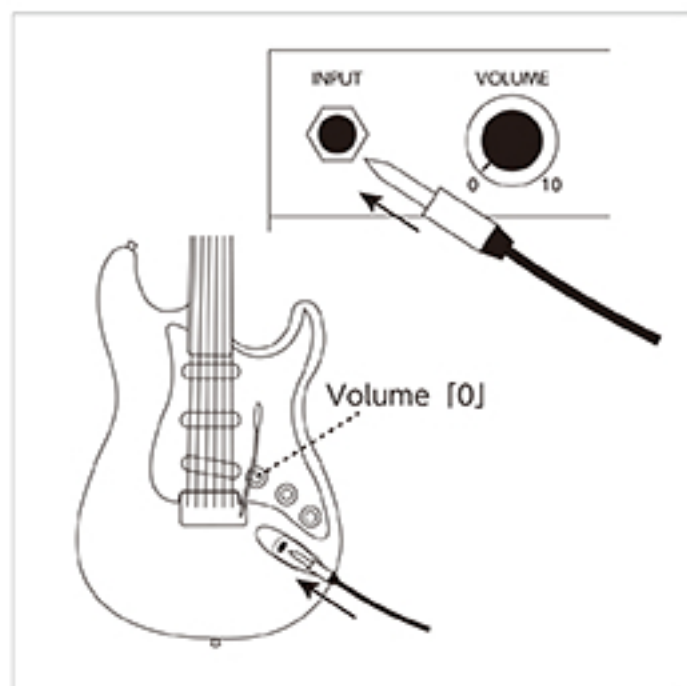
ギターとアンプを繋げる

●手順1



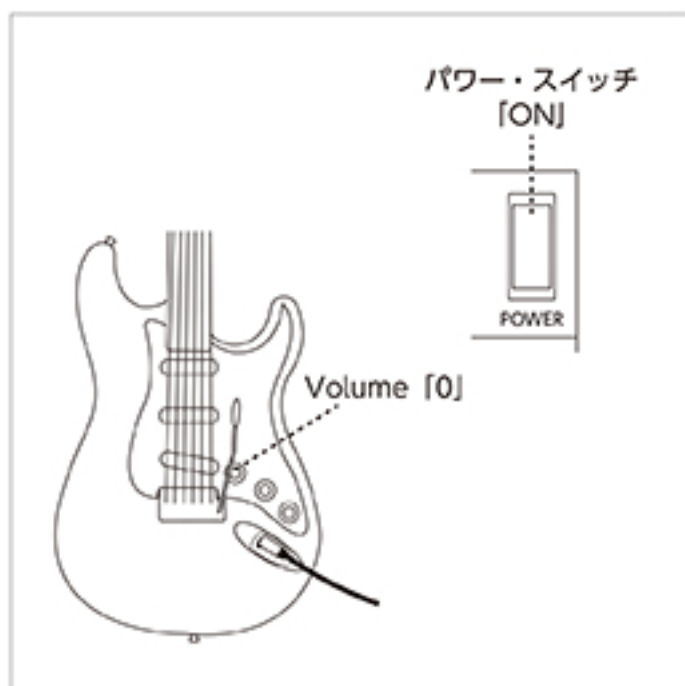
▲ギター・アンプのボリュームがゼロになっていることを確認し、コンセントに挿し込みます。

●手順2



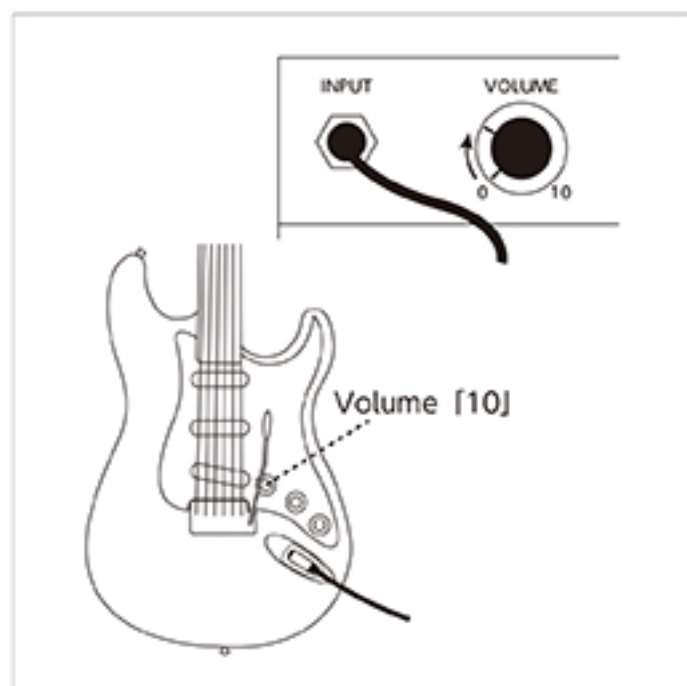
▲ケーブルの一方をギターのジャックに挿し、もう一方をギター・アンプのインプットに挿し込みます。

●手順3



▲ギター本体のボリュームをゼロにし、ギター・アンプの電源スイッチを入れます。

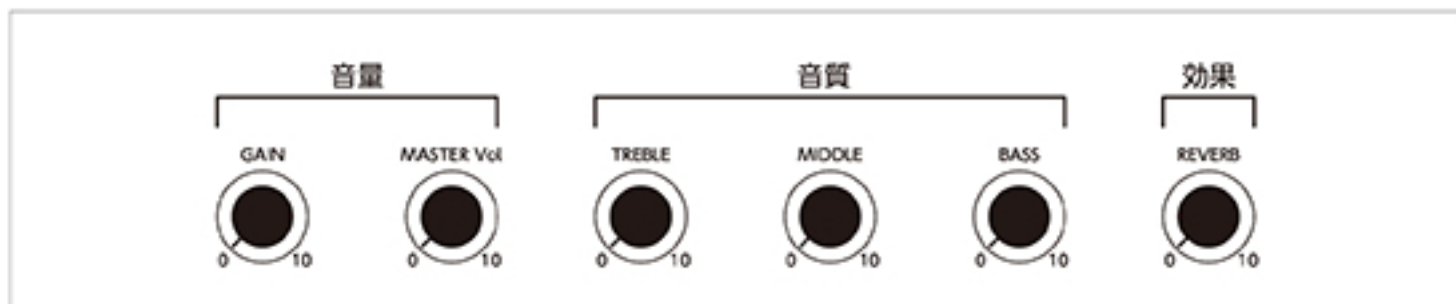
●手順4



▲ギター本体のボリュームを10(フル)にし、ギター・アンプのボリュームを少しずつ上げていきます。

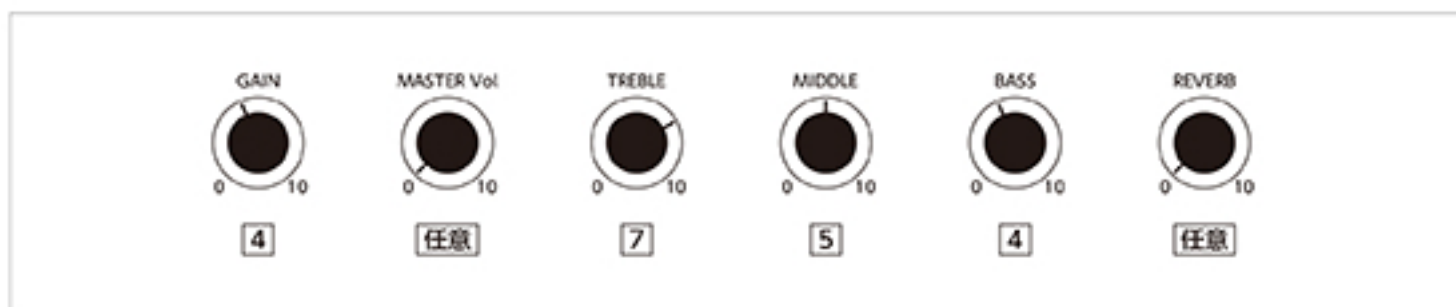
ギター・アンプのセッティング

●ツマミの詳細

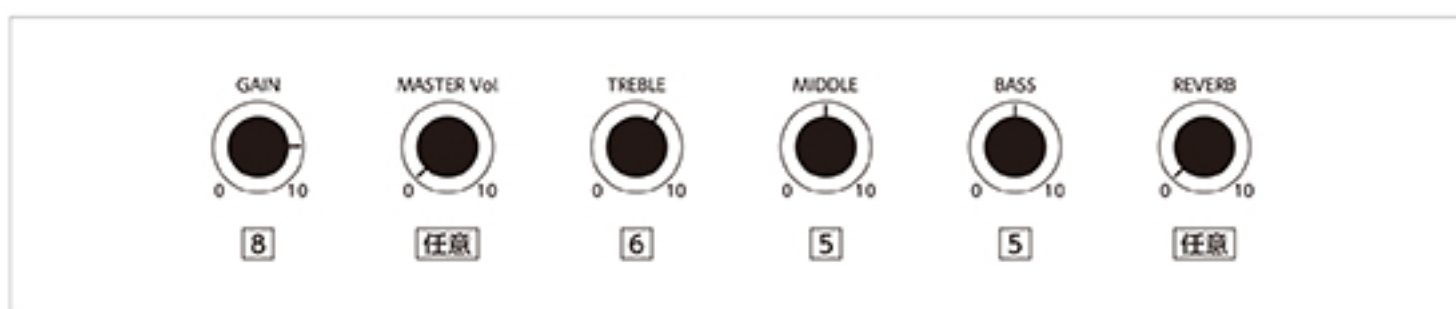


GAIN	音色の歪み具合を決めるノブです。
MASTER Vol	最終的な音量を決めるノブです。GAINとの組み合わせで音量を決めましょう。
TREBLE	高音域を調整します。上げると固い音に、下げると丸い音になります。
MIDDLE	中音域を調整します。上げると太い音に、下げると細い音になります。
BASS	低音域を調整します。上げると重々しい音に、下げると軽い音になります。
REVERB	残響を加えるノブです。

●セッティング例1 / 60～70年代のロックン・ロール



●セッティング例2 / 70年代のハード・ロック

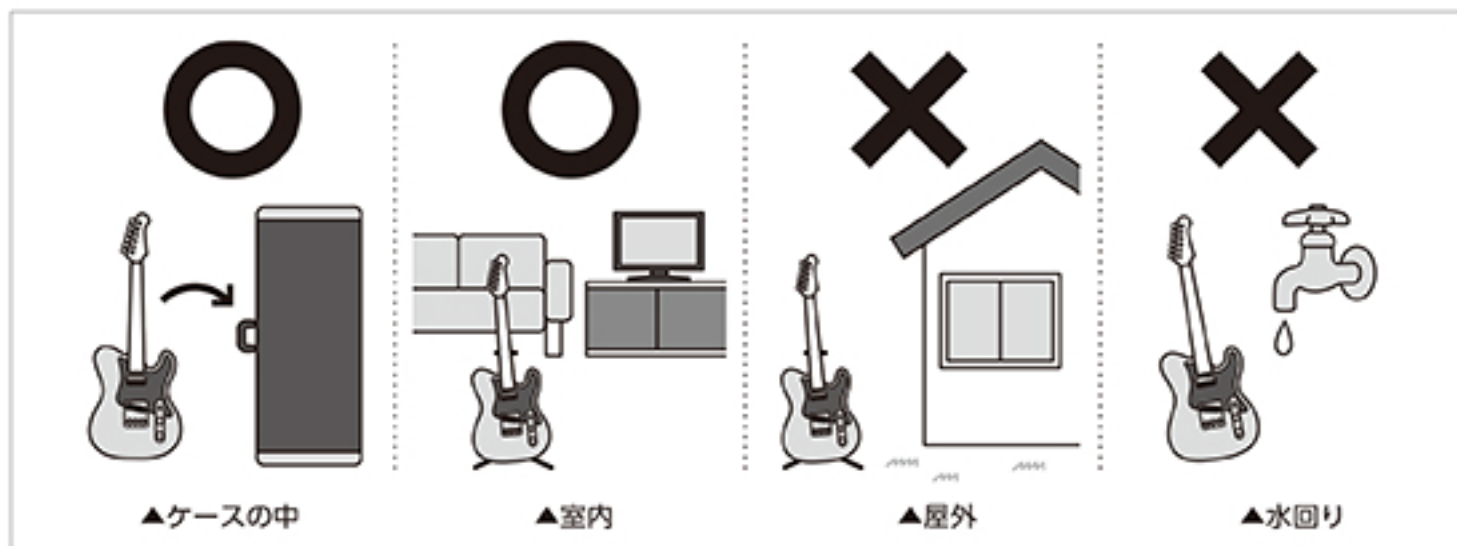


7 日々のメンテナンス

エレキ・ギターを弾いた後に行うメンテナンスです。大切な楽器を長持ちさせるためにもぜひ実践しましょう。

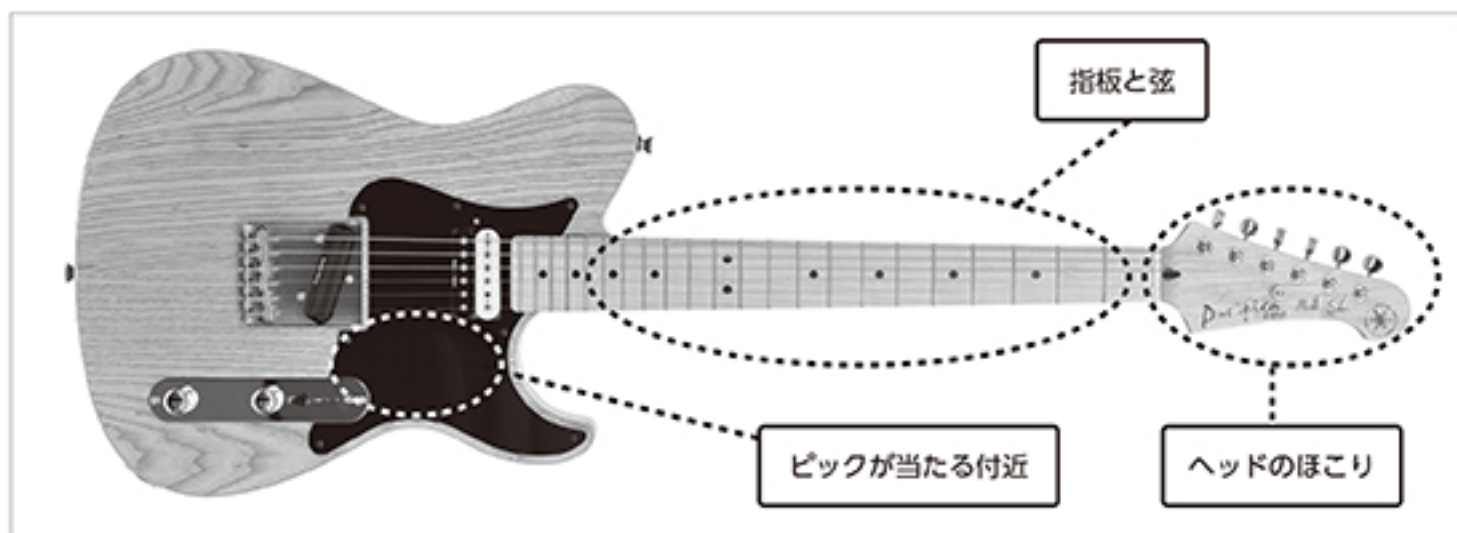
保管場所

温度、湿度が急激に変化する場所は保管に適しません。



汚れ、汗は拭きとる

ボディ、ネックの汚れや汗はクロスで拭き取りましょう。弦に付いた汗も軽く拭き取ると弦が長持ちします。



弦は緩めない

一度張った弦を緩める必要はありません。これはネックの状態を安定させるためにも重要なことです。